

児童相談所関連研修 児童心理司（応用）Ⅱ

【実施日】	令和7年11月18日（火）・12月5日（金）
【受講決定者数】	42名
【受講生の声】	<ul style="list-style-type: none">・関係特異性のお話を始めとするアタッチメントに関するお話から、概ね10歳前とそれ以降で介入方法が異なることや具体的な支援の方法に至るまで知りたいことが凝縮された貴重なご講義でした。映像を見せていただいたことも学びを深めるためにとても役立ちました。クロウエル法や、表象に関するインタビューも所内全体で実践に役立てたいです。・乳幼児期から関わるケースも多くあり、アセスメントの難しさを感じていました。関係性からアセスメントをしていくというポイント、表象と行動の関係性、こどもと安定した愛着を保てる大人の存在を増やすことなど、ケース対応に活かせる事項が多くありました。・施設入所中の子どもたちに関わると、時折何を目的に関わっていけば良いか分からなくなる事がありました。今日の研修を受けて、入所の経緯や家族の現在について子どもたちがどのように理解しているか、疑問にどう答えていくか、を意識して関わっていきたいと思いました。・誰がライフストーリーワークをしていくのか、どうしていくのか分からずに止まっているケースが沢山あるように感じていたため、今すぐに取り掛れそうなものを持ち帰ることができてよかった。